

令和7年度事業報告書

総務省が昨年9月に発表したところによると人口の高齢化は出生率の低下と相まってますます加速化しており、65歳以上の高齢者人口は3,619万人で総人口に占める割合が29.4%と過去最高となる超高齢社会を迎えております。

「高齢者の世紀」と称されることもある21世紀において、豊かで活気のある長寿社会を築いていくためには、高齢者が地域社会において積極的に役割を果たしながら生きがいを持って生活をしていくことが必要です。そのために、積極的に地域活動に参画し、培ってきた経験や知恵を活かした取り組みを進めるなど、私たち老人クラブの役割がとても重要なものになっています。

このような中で、大老連では「老人クラブの元気は地域の元気」の信念のもとに、全老連が提唱する「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、「健康・友愛・奉仕」に関するさまざまな活動を展開してきました。

一方で、3年以上にわたる新型コロナウイルス感染の広がり、とりわけ高齢者の健康、生活、活動への制限や、社会的な孤立、孤独といった事態を顕在化させました。そういった状況下で、老人クラブには、健康、友愛、奉仕などの多彩なクラブ活動を通じて、地域とともに誰もが生きがいのある「地域共生社会」の実現に向けた役割が期待されています。

令和7年度については、感染症対策と健康保持増進の両立を図りながら、積極的に事業を展開してきました。

まず、健康づくりとして、「グラウンド・ゴルフ大会」を開催するとともに、「健康づくり推進リーダー養成講座」は内容の充実を図り継続実施するなどの取り組みを進めてきました。

また、ねたきり高齢者の友愛訪問や百歳長寿者のお祝い訪問、友愛募金運動の推進などの友愛活動、そして全国一斉「社会奉仕の日」や環境美化・リサイクル活動の取り組みあるいは子ども見守り活動などの奉仕活動など可能な限り実施してきました。

さらに、大阪市との共催事業である、豊かな長寿社会を願う、大阪市高齢者福祉大会についても盛大に開催しました。

老人クラブの発展をめざすには、その活動を担う指導者の養成が今一番大切であり、老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会を開催するとともに、次世代を担う女性部リーダーを対象とした研修を開催するなど、幅広い人材育成、リーダー養

成に努めてきたところです。

また、全国老人クラブ大会、近畿ブロック老人クラブリーダー研修会、全国老人クラブ連合会が実施する研修会や諸会議、近畿老人クラブ連絡協議会の定例会などに参加することにより、より広い視野に立って積極的かつ活発な活動を展開することができました。

さらに近年、様々な手口の特殊詐欺や消費者詐欺が多発し、特に高齢者の被害が増え続けているため、大阪府警察、大阪市消費者センター等と連携し、その被害防止に取り組んできました。

一方、全国的な傾向でもある会員の減少、指導者の不足、財源不足などの課題については、令和3年4月に設置した「大老連運営改革検討委員会」を中心に、事業の選択と集中により事業費の見直しを行うとともに、人件費をはじめとする管理経費についても削減を図りながら、令和3年11月に策定した「大老連会員増強行動計画」を令和6年に改定し、その計画のもと一層の会員増強運動に取り組み、会員の減少に歯止めをかけ自主財源の確保に努めていますが、会員数については依然減少傾向にあり、今後とも、持続化可能な運営となるよう組織の基盤強化と自主財源の確保に努めていく必要があります。

大老連としては、地域の高齢者を代表する組織として、明るく豊かな長寿社会となるよう、高齢者が活力を発揮し人生の充実と長寿を喜びあえる地域社会づくりに取り組んできたところですし、これからも取り組んでまいります。

令和7年度の「組織運営」及び「主な事業のあらまし」は、次のとおりです。

＜組 織 運 営＞

1. 法人の運営

法人の運営については、総会、理事会、役員部会長会、会長会、各部会、運営改革検討委員会、供養塔管理運営委員会等を随時適切に開催して諸事業の企画・立案を行い、自主的で円滑な運営に努めた。

総 会

月 日	議 題
令和7年 5月28日	① 理事・監事の選任について ② 令和6年度事業報告書について ③ 令和6年度収支決算書について ④ 公益目的支出計画実施報告書について

理事会 ・ 役員部会長会

月 日	主 な 議 題
役員部会長会 令和7年4月28日 理事会 令和7年5月8日	① 定時総会の開催について ② 理事・監事の選任について ③ 令和6年度事業報告について ④ 令和6年度収支決算について ⑤ 公益目的支出計画実施報告について
理事会 令和7年5月28日	① 理事長・副理事長・常務理事の選定について ② 部会長及び部会担当理事の選任について
役員部会長会 令和8年2月25日 理事会 令和8年3月3日	① 令和8年度事業方針及び事業計画（案）について ② 令和8年度収支予算（案）について

会 長 会

月 日	主 な 議 題
令和7年 4月1日	① 定時総会の開催について ② 大老連グラウンド・ゴルフ大会開催要綱について ③ 令和7年度全老連主催研修への参加区老連について
5月8日	① 高齢者の主張発表の実施要領について ② 大阪市高齢者福祉大会実施概要について ③ 令和7年度区老連福祉活動助成について
6月3日	① 第64回大老連供養塔法要について ② 令和7年度全国老人クラブ大会への参加区及び表彰区の推薦について ③ 全老連「活動賞」の推薦について
7月1日	① 令和7年度老人クラブ「社会奉仕の日」活動実施要領及びのぼり等の購入費補助について ② 令和7年度ねたきり高齢者の友愛訪問対象者の調査について ③ 令和7年度「百歳」長寿者お祝い訪問について ④ 令和7年度高齢者福祉大会の概要・「大会宣言」について
8月5日	① 令和7年度ねたきり高齢者友愛訪問助成金の拠出について ② 令和7年度健康づくり推進リーダー養成講座の実施について
9月2日	(報告等事項のみ)
10月7日	① 令和7年度大老連役員研修会について ② 令和7年度指導者・女性部指導者合同研修会の開催について
11月4日	① 令和8年1月大老連会長会及び初詣の実施について
12月2日	(報告等事項のみ)
令和8年1月6日	(報告等事項のみ)
2月3日	① 理事会の開催について
3月3日	① 令和8年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会について

各 部 会 ・ 委 員 会

部 会 名	月 日	主 な 議 題
保健体育部長会	令和7年 4月9日	① 第20回大老連グラウンド・ゴルフ大会について
供養塔管理運営委員会	6月17日 8月28日	① 第64回大老連供養塔法要について
福祉活動部長会	6月20日	① ねたきり高齢者友愛訪問対象者調査について ② 「老人の日・老人週間」推進9月20日「社会奉仕の日」の取り組みについて
女性部長会	7月11日	① 令和7年度各区女性部長研修について ② 令和7年度女性部リーダー研修について
地域対策部長会	8月21日	① 令和年度大阪市高齢者福祉大会について
運営改革検討委員会	令和7年 4月28日 5月23日 6月23日 8月26日 9月24日 10月23日 12月18日 令和8年 1月27日 2月25日 3月24日	① 会員増強行動計画の推進 ② 大老連の収支見直し ③ 大老連事業の見直し ④ 老人クラブ活動に関わる制度や地域連携についての課題や改善点について ⑤ 経費の削減と事業計画の見直しについて などについて検討し、決定事項を会長会に諮り、順次実施している。

3. 役員名簿

令和8年1月1日現在

役 職 名	氏 名	部 会
理事長	東住吉区老連会長 野 口 一 郎	
副理事長	東成区老連会長 家 門 昇 次	
副理事長	西 区 老 連 会 長 生 島 一 夫	
監 事	大正区老連会長 野 川 清 美	
監 事	西淀川区老連会長 井 上 正 裕	
理 事	北 区 老 連 会 長 八十島 義 郎	福祉活動部会長
理 事	福島区老連会長 清 水 幸 子	
理 事	此花区老連会長 金 澤 房 三	
理 事	中央区老連会長 山 本 喜久榮	女性部会長
理 事	天王寺区老連会長 飯 田 博 一	地域対策部会長
理 事	浪速区老連会長 大 竹 莊一郎	
理 事	淀川区老連会長 辰 巳 明 子	
理 事	東淀川区老連会長 奥 野 俊 明	保健体育部会長
理 事	生野区老連会長 松 下 園 恵	広報部会長
理 事	旭 区 老 連 会 長 谷 井 仁	
理 事	鶴見区老連会長 寺 井 政 昭	
理 事	阿倍野区老連会長 森 尾 隆 一	厚生文化部会長
理 事	住之江区老連会長 漆 谷 芳 幸	総務部会長
理 事	平野区老連会長 中 村 エチ子	
理 事	西成区老連会長 光 田 精 一	

＜主 な 事 業 の あ ら ま し＞

I. 心とからだの健康づくり

「心とからだの健康づくり」をめざして、高齢者の健康ウォーキング事業などの「健康をすすめる運動」の推進をはじめ、スポーツの振興を図り、会員相互の親睦を図ることを目的にスポーツ大会等を開催した。

また、各区老連において介護予防の普及・啓発のための多様な事業が展開され、地域における健康づくり活動の推進に努めた。

1 「健康をすすめる運動」の推進

(1) 健康づくり推進リーダー養成講座

老人クラブの三大運動である「健康・友愛・奉仕」の一つである健康は、クラブ活動の基本となることから、健康づくり推進リーダー養成講座を開催した。

開催日 令和7年10月16日（木）（第1回目）から
令和7年11月25日（火）（第5回目）まで及び
令和8年 1月28日（水）（特別講座）を含めて計6回実施
場 所 大阪市立社会福祉センター外
修了者 29名

講座カリキュラム

日 時	テ ー マ	講 師	会 場
10/16	開講式 「こころと体の健康づくり」	下口メンタルフィットネス 下口 泰正	大阪市立社会福祉センター外
10/22	実技 「健康体操」	フィットネス 21 事業団 山川 晃	
10/29	実技 「介護予防の運動Ⅰ」	大阪府レクリエーション協会 浅田 昌子	
11/11	実技 「介護予防の運動Ⅱ」	大阪府レクリエーション協会 浅田 昌子	
11/25	閉講式 「高齢者の健康づくり」	トミオカ体操スクール顧問 播野 幸宏	
令和8年 1/28	「シニアの楽しみー地域共生社会と老人クラブの役割ー」	motto ひょうご事務局長 栗木 剛	

(2) 全老連主催「令和7度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への参加

令和7年12月1日（月）～2日（火）{全社協「灘尾ホール」}
テーマ 「健康づくり、介護予防活動」「友愛活動（地域支え合い活動）」
参加者 長井 啓子（東淀川区老連）

2 スポーツの振興

スポーツを通して会員の健康維持増進を図るとともに、生きがいの高揚と会員相互の親睦交流を深めた。

(1) 第20回大阪市老人クラブ連合会「グラウンド・ゴルフ大会」の開催

(令和7年6月6日(金): 東淀川区 豊里中央公園)

各区老連代表 114名

【団体の部】

優 勝	住之江区老連
準優勝	西区老連
第三位	東成区老連

【個人の部】

優 勝	淀川区老連	栢本 靖子
準優勝	平野区老連	山本 生一
第三位	西区老連	川島 英利

(2) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)への参加

スポーツ・文化・福祉など多彩なイベントを通じて、健康づくりの推進、世代間・地域間の協調と交流を図ることを基本理念として、「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」をテーマに、10月18日(土)～10月21日(火)にかけて、第37回全国健康福祉祭ぎふ大会が、全国から67選手団、1万人の選手・監督等の参加を得て、盛大に開催された。大阪市から19種目に110人がエントリーし、熱戦を繰り広げた。

【参加種目と参加人員】

卓球6人、テニス6人、ソフトボール15人、ゲートボール6人、ペタンク3人、ゴルフ3人、マラソン1人、弓道6人、剣道6人、水泳3人、グラウンド・ゴルフ6人、サッカー19人、ソフトバレーボール7人、ウォークラリー5人、太極拳7人、オリエンテーリング1人、スポーツウエルネス吹き矢3人、将棋3人、健康マージャン4人

計 110人

(3) 各区老連における健康づくり活動

- ① グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク大会等の開催
- ② 健康体操や歩こう会・ハイキング等の実施
- ③ 各区医師会・保健福祉センター等の協力による介護予防、保健栄養改善など健康管理についての相談会や講習会の開催
- ④ 警察の協力による交通安全についての講習会や街頭指導・キャンペーンの実施
- ⑤ 警察や消費者センターの協力による特殊詐欺や高齢消費者詐欺についての学習会開催

Ⅱ. 高齢者が相互に支援する友愛・ボランティア活動

高齢者相互の心のふれあいを中心とする友愛活動として、虚弱高齢者に対する介護や身の回りの世話などの救援活動、一人暮らし高齢者に対する話し相手、愛の一声運動などが各地域で日常継続的に幅広く展開された。

1 在宅福祉を支える友愛活動の推進

(1) ねたきり高齢者の友愛訪問と百歳長寿者のお祝い訪問

各区の福祉活動部と女性部が中心になって、7～8月にねたきり高齢者の実態調査を行い、感染症等の状況などを見ながら、59人を訪問しねたきりの高齢者やその家族を励まし見舞い品を贈った。また、百歳長寿者22人に、お祝い品を渡し長寿を祝った。

(2) 友愛募金活動

令和7年度も女性部を中心とした会員の努力により、各区老連で759,768円に上る募金収入を得て、ねたきり高齢者の友愛訪問や区老連の福祉活動助成費等に充当した。

令和7年度各区老連友愛募金状況

区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)	区老連名	金額(円)
北	20,000	天王寺	10,000	生 野	30,000	平 野	27,000
福 島	12,000	浪 速	35,000	旭	15,000	西 成	30,000
此 花	88,228	西淀川	20,000	鶴 見	30,000		
中 央	39,000	淀 川	0	阿倍野	146,000		
西	25,000	東淀川	70,000	住之江	18,000	合 計	759,768
大 正	31,000	東 成	63,540	東住吉	50,000		

(3) 全老連主催「令和7年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への参加（再掲）

令和7年12月1日（月）～2日（火）{全社協「灘尾ホール」}

テーマ 「健康づくり、介護予防活動」「友愛活動（地域支え合い活動）」

参加者 長井 啓子（東淀川区老連）

2 転入者をあたたかく迎える運動

市内への転入者に対して、地域の老人クラブにおいて友愛活動の一環として実施した。

3 高齢消費者被害防止の取り組み

大阪府警察、大阪市消費者センターと連携し、各種研修会での取り組みをすすめるとともに会長会等で情報提供した。

Ⅲ.「きれいな地球をこどもたちへ」環境への取り組み

1 全国一斉「社会奉仕の日」及び環境美化・リサイクル活動の取り組み

全国運動として制定された9月20日の全国一斉「社会奉仕の日」を中心に、「きれいな地球をこどもたちへ」のスローガンのもと、380の単位クラブから4,655人が活動に参加し、地域の環境美化の担い手としての活力を示した。

主な奉仕活動は、①公園・駅周辺・神社・国道沿いの清掃②空きビン・空き缶の回収③花壇の手入れ・木々の剪定④不法看板の撤去⑤公園の遊具の点検⑥施設訪問などであり、当日は、子ども会と一緒に活動したところも多く、和やかに世代間交流が図られた。

なお、このうち清掃奉仕活動をさらに促進するため、ゴミ袋の提供やゴミ回収について大阪市から協力を得た。

令和7年度各区老連「社会奉仕の日」実施状況

(単位:人)

区老連名	参加人員	区老連名	参加人員	区老連名	参加人員	区老連名	参加人員
北	127	天王寺	185	生 野	314	平 野	284
福 島	85	浪 速	133	旭	244	西 成	631
此 花	187	西淀川	88	鶴 見	135		
中 央	219	淀 川	226	阿倍野	424		
西	95	東淀川	672	住之江	246		
大 正	85	東 成	103	東住吉	172	合計	4,655

Ⅳ. 生活と地域を豊かにする楽しいクラブ活動

1 大阪市高齢者福祉大会(大阪市・大老連共催事業)

高齢者福祉の一層の充実と豊かな長寿社会の実現を願い、大阪市と大老連の二者の実行委員会方式の共催で、第1部の式典は、優良老人クラブへの大阪市長及び大老連理事長の感謝状並びに永年勤続会長への理事長表彰状の贈呈式等を行った。第2部のアトラクションでは老人クラブ会員等による演芸を披露した。

開催日 令和7年9月4日(木)

会 場 クレオ大阪中央

参加者 550人

(第一部 式典)

◇ あいさつ 大老連理事長
大阪市長

- ◇ 来賓祝辞 大阪市会議長
大阪市社会福祉協議会会長
- ◇ 表 彰 大阪市長感謝状 20年優良老人クラブ 2クラブ
大老連理事長感謝状 15年優良老人クラブ 2クラブ
大老連理事長表彰状 20年勤続会長 1名
〃 15年勤続会長 8名
〃 10年勤続会長 13名
〃 5年勤続会長 35名
- ◇ お礼のことば 受賞者代表
- ◇ 大会宣言 大老連女性部

(第二部 アトラクション)

◇ 老人クラブ会員並びに老人福祉センター利用者による演芸
東成区、大正区、住之江区、北区、阿倍野区の5区老連等

2 大老連供養塔法要

先人の偉業をしのぶとともにご冥福を祈って、第64回大老連供養塔法要を厳粛に執り行った。

開催日	令和7年9月25日(木)	
場 所	高野山奥の院 大老連供養塔前	
参加者	87名	
法要次第	開式のことば	副理事長
	祭文	理事長
	回向祭文	本王院住職
	読経	本王院住職
	焼香	
	閉式のことば	副理事長

3 高齢者の主張発表

「大老連だより」10月号を大阪市高齢者福祉月間特集号として増ページ発行し、主張発表の全文を紙面掲載して、「高齢者の主張発表」を実施した。

主張発表

感謝の気持ち	東淀川区老人クラブ連合会	上西 進
ようこそ立葉壮寿会へ	浪速区老人クラブ連合会	宮本チヨ子
高齢者の真ん中より高齢を考える	鶴見区老人クラブ連合会	橋爪 健治
子どもたちに元気づけられて	西区老人クラブ連合会	山城八重子
私の好きなシニアクラブ	東住吉区老人クラブ連合会	高橋 廣吉
コミュニケーションが会員増強の要因に!!	大正区老人クラブ連合会	奥野 豊
楽しみ・喜び・元気いっぱい	生野区老人クラブ連合会	杉山加津子
高齢者と老人クラブの役割	阿倍野区老人クラブ連合会	森 正男
クラブ運営に思うこと	淀川区老人クラブ連合会	山田 豊
人類の課題に挑戦!	平野区老人クラブ連合会	鷺田 潔

V. はつらつとしたクラブづくり

1. 研修・学習活動の充実

老人クラブリーダーが、社会の変化に対応して新しい技術や知識を身につけるとともに、時代に適応した老人クラブ活動を推進していくため、研修・学習の充実に努めた。

(1) 老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会

開催日 令和8年1月28日（水）

会 場 東成区民センター

研修内容 講演

テーマ：シニアの楽しみー地域共生社会と老人クラブの役割ー

講 師：栗木 剛 氏 （m o t t o ひょうご事務局長）

(2) 大老連役員研修会

開催日 令和7年11月4日（火）

会 場 大阪府社会福祉会館

研修内容

◇ 研修Ⅰ ①講演 「老人クラブの活性化のヒント。（後継者問題を考える）」

講師：大北 規句雄 大阪公立大学・追手門学院大学非常勤講師

②説明 「老人クラブとの協働のためのガイドブックの活用について」

磯野事務局長

◇ 研修Ⅱ 人権問題研修

人権問題にかかる啓発 DVD 鑑賞

題名 「マルっとわかる！職場のハラスメントパワハラ、セクハラからモラハラ、カスハラまで」

(3) 各区女性部長、女性部リーダー研修

平成20年度から女性部活動の活発化とリーダー養成を図るため、毎年女性部長及び女性部リーダーを対象に研修会を開催してきた。令和5年度からコロナ禍を経て4年ぶりに開催となり、7年度の開催状況は次のとおりである。

各区女性部長研修

開催日 令和7年9月11日（木）

場 所 市立社会福祉センター

テーマ 「備えあればフレイルなし！いきいきシニアの健康ライフ」

参加者 各区女性部長、女性部リーダー（1名）ほか 40名

女性部リーダー研修

開催日 令和7年10月30日（木）

場 所 市立社会福祉センター

テーマ 「震災時の避難対応と高齢者の役割について」

参加者 各区女性部リーダーほか 31名

(4) 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

開催日 令和7年6月26日(木)

会場 神戸市産業振興センター

参加者 15名

基調報告 「老人クラブの現状と課題」

全国老人クラブ連合会常務理事 松島 紀由 氏

講演 「高齢期をどう生きるかー良好な人間関係がkeyー」

神戸市シルバーカレッジ学長 前田 潔 氏

分科会

第1分科会 会長・役員の後継者育成と会員増強について

(事例発表者：森尾隆一 阿倍野区老連会長)

第2分科会 一人暮らし高齢者や認知症高齢者を見守る地域の連携について

第3分科会 高齢者の消費者被害防止の取り組みについて

第4分科会 フレイル予防のためのユニークな文化・スポーツ活動について

(5) 第54回全国老人クラブ大会への参加

開催日 令和7年11月5日(水)・6日(木)

会場 水戸市民会館(茨城県)

参加者 8名

活動発表(パネルディスカッション)

- ・活動発表テーマ「老人クラブが取り組む地域高齢者のための活動ー地域共生社会の実現を目指してー」

「テレフォンレスキューで暮らしの支えあい」(茨城県小美玉市)

「オレンジカフェで和んで、笑って、輪になって」(大分県臼杵市)

「災害復興住宅に立ち上げた老人クラブ」(岩手県陸前高田市)

- ・コーディネーター 福人ラウンジ主宰 金井 敏 氏

講演 「あなたの知らない名字の世界」

苗字研究家 高信 幸男 氏

式典

<全老連会長表彰>

育成功労	山本喜久榮	(中央区老連会長)
女性リーダー育成功労	今井加代子	(福島区老連女性部長)
若手リーダー育成功労	矢倉俊明	(東成区老連副会長)
優良老人クラブ	堀江西長寿会	(生島区老連会長)
優良老人クラブ連合会	住之江区老人クラブ連合会	(漆谷 芳幸会長)
永年勤続	岸 恵美子	(大老連事務局)

(6) 全国老人クラブ連合会「活動賞」の受賞

地域において先進的な活動に取り組んでいる老人クラブに全老連から「活動賞」が贈られている。令和7年度は「仲間づくり活動」「健康づくり活動」「ボランティア活動」「その他の活動」において大老連から4クラブが受賞した。

中央区	中央区老人クラブ連合会	(山本喜久榮会長)
西淀川区	佃老人クラブ	(石谷 繁松会長)
生野区	生野区老人クラブ連合会	(松下 園恵会長)
平野区	平野区老人クラブ連合会	(中村エチ子会長)

2 各区老連における研修・学習活動

各区老連においても、感染症防止対策に努めながら、リーダー研修会、事例発表会、老人学級や各種の教養講座、ボランティアスクールの開設など、研修・学習の充実を図った。

VI. クラブ発展の基盤強化

1 会員の加入促進

会員の減少は老人クラブが抱える重要な課題であり、全国的に会員の減少傾向が進む中で、大老連も平成16年度末から減少傾向が続いており、令和7年3月末現在21,826人となり、昨年度3月末時点に比べて1,792人の減少になっている。

大老連では、会員の加入促進を一層図っていくために、これまで平成18年度から毎年3月を「会員加入促進強調月間」と定め、大老連機関紙を加入勧奨用として役立てていただいているほか、平成25年度からは新たに、クラブを新設した区老連に対する顕彰制度を創設するなど、会員増強に向けて取り組みを行っている。

また、高齢者の多様なニーズに応えるクラブ活動づくり、魅力あるクラブ活動づくりに加えて、老人クラブの役割、老人クラブ活動の重要性や、老人クラブ入会の魅力等をPRする広報活動を展開するなど活性化にも取り組んでいる。

さらに、平成26年度から全老連の100万人会員増強運動に応じて、大老連老人クラブ「1万人会員増強運動」を展開し、一般高齢者への参加呼びかけ、体験参加、加入促進事業助成として、高齢者にとって身近なテーマについて学ぶ「シルバー教養講座」の開催と、各区老連が実施する会員加入促進事業への助成等を主な内容とする「大老連シルバー元気づくり事業」を継続実施したほか、平成28年度から会員加入促進ポスターの作成等に取り組んできた。

しかし、その後も会員数の減少傾向が続く中、近年においてはコロナ禍も相まって、最も会員数の多かった平成10年に比べて20数%まで減少しており、組織の基盤強化と自主財源の確保についての抜本的で早急な取り組みが求められている。

このため、令和3年4月に「大老連運営改革検討委員会」を設置し、運営改革の方策を検討し実施していくとともに、令和3年11月に策定した「大老連会員増強行動計画」を令和6年6月に第2次計画として改定し、一層の会員増強運動に継続して取り組んでいる。

令和4年度からは大阪市立歴史博物館、大阪市立科学館、NMB48との連携による会員募集ポスターを作成するとともに、令和6年度には各区老連の特色を出した会員勧誘チラシを作成するなどの取り組みを進めている。

令和7年度「大老連シルバー元気づくり事業」実施状況

(1)「シルバー教養講座」の開催

講座内容

区分	日程	テーマ	講師	参加者数（名）
1	6月18日	カラダは食べ物からできている－元気な人生100年のヒント－	株式会社 明治 川西祥子 氏	18
2	11月27日	あたまの健康セミナー －楽しい認知症予防の勉強会－	公文教育研究会学習療法 センター 依田將之 氏	13

（2）各区老連が実施する会員加入促進事業への助成

大老連シルバー元気づくり事業「会員加入促進事業への助成事業」実施要領（令和2年4月1日施行）に基づき、各区老連において実施する「広報冊子・パンフレット・ポスターの作成」、「区老連行事・事業等での広報・PR活動」、「区老連行事・事業等への参加呼びかけ」などの事業に助成金を交付した。

2 広報活動

広報活動は、会員相互のコミュニケーションを図ることはもとより、広く社会へのPRを行い、老人クラブに対する理解と協力を得るうえで極めて重要である。

大老連機関紙「大老連だより」は25,000部（令和8年4月現在）を発行。昭和33年8月の創刊以来、大老連事業や老人クラブ活動の啓発、各区の活動状況をはじめ会員の意見や主張、あるいは俳句・短歌・川柳・書道などを紹介して、会員に親しまれており、仲間づくりや生きがいがいづくりに貢献してきた。

組織内外への広報活動の一層の充実を図るため、平成22年9月からは、新たに「大老連のホームページ」を開設するとともに、平成25年3月からは、老人クラブの役割や老人クラブ入会の魅力等を掲載した広報パンフレットを作成し、区老連行事・事業をはじめとする各種行事・事業などを通じて広く配布して、老人クラブのPRに努めてきた。

令和3年度には、老人クラブのイメージアップを図るとともに、会員の増強運動につなげるため親しみやすい愛称を募集、『みおつくしクラブ大阪』に決定し、令和4年度から各種PR媒体等で活用している。

令和4年度からは大阪市立歴史博物館、大阪市立科学館、NMB48との連携による会員募集ポスターを作成し、各区老連の地元をはじめ大阪市の関係施設・団体、大阪メトロ地下鉄駅構内やバス車中などへの掲示を行うとともに、令和6年度からは各区老連の特色を出した会員勧誘チラシを作成するなどの取り組みを進めている。

また、各区老連において発行する機関紙も年々充実が図られ、組織や活動の活性化、会員相互の情報交換に大いに役立っている。

大老連機関紙については、昭和33年8月の創刊以来、会員の皆様方に親しまれ組織の活性化に役立つ機関紙を目指して、種々の改善を図りつつ毎月発行を行ってきたところであるが、広告の減少等により財源の確保が極めて困難な状況に至ったため、令和元年度から名称を「大老連だより」と改め、発行も2カ月に1回とすることとし、さらに、令和4年度からは専門事業者への全面委託方式により年4回の発行を、また、令和7年度からは年2回の発行を継続している。令和8年4月号で月刊大老連と通算して760号を数える。

3 他の団体・組織との連携・協力

全国老人クラブ連合会及び近畿老人クラブ連絡協議会等が主催する各種会議にも積極的に出席するほか、行政関係の各種委員会等へも参画し、他の団体・組織との連携・協力に努めた。

(1) 全老連理事会、全国都道府県指定都市老連代表者会議・事務局長会議への出席

- | | |
|----------|------------------------|
| ① 理事会 | 令和7年5月28日(水)[東京都] |
| | 出席者 野口 一郎 大老連理事長 |
| ② 評議員会 | 令和8年3月12日(木)[東京都] |
| | 出席者 野口 一郎 大老連理事長 |
| ③ 代表者会議 | 令和8年2月4日(水)、5日(木)[東京都] |
| | 出席者 野口 一郎 大老連理事長 |
| | 山本喜久栄 大老連女性部会長 |
| | 磯野 友彦 大老連事務局長 |
| ④ 事務局長会議 | 令和7年7月30日(水)[東京都] |
| | 出席者 磯野 友彦 大老連事務局長 |

(2) 近畿老人クラブ連絡協議会(近畿6府県4指定都市)定例会への出席

- | | |
|-----|-------------------|
| 第1回 | 令和7年4月25日(金)[大阪市] |
| | 出席者 野口 一郎 大老連理事長 |
| | 磯野 友彦 大老連事務局長 |
| 第2回 | 令和7年8月8日(金)[和歌山県] |
| | 出席者 磯野 友彦 大老連事務局長 |
| 第3回 | 令和8年2月10日(火)[大阪府] |
| | 出席者 野口 一郎 大老連理事長 |
| | 磯野 友彦 大老連事務局長 |

(3) 行政関係の各種委員会等への参画

大阪市等が施策、事業を推進するために設置する各種委員会等に高齢者を代表する組織として協力を求められ、理事長・副理事長等が次の委員会等の委員に就任し、意見・提言を行った。

(大阪市関係)

- ・ 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 (大阪市福祉局)
- ・ 大阪市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 (同)
- ・ 大阪市障がい者・高齢者虐待防止連絡会議 (同)
- ・ 大阪市安全なまちづくり推進協議会 (大阪市市民局)
- ・ 大阪市消費者保護審議会 (同)
- ・ おおさか介護サービス相談センター運営委員会 (大阪市社会福祉協議会)

(大阪府関係)

- ・ 大阪府地域医療推進協議会 (大阪府医師会)
- ・ 大阪府交通対策協議会 (大阪府都市整備部)
- ・ オール大阪特殊詐欺撲滅対策会議 (大阪府警察・近畿財務局)
- ・ 大阪府万引き総合対策協議会 (大阪府警察)